

封印ファイル

封筒A

このファイルは読まずに印刷してください。印刷したページを「A」と書いた封筒に入れ、封をします。

次のページの質問への答えがチームでまとまるまで開けないでください。



封筒A

これは事故だったのか？ そうでないなら、サイラス・レンはどの時間帯に死亡したのか？

ここで切り取って封をしてください。チームの答えがまとまるまで開けないでください。

これは殺人だった

サイラス・レンは事故で転落したのではない。検視官は後頭部に、それぞれ直径約2.5cmの円い骨折を**2か所**、別々に認めている。これは転落によってできる損傷の形ではない。日誌の最後の記録「灯を点検」は**23:30**。時計仕掛けは01:30に巻かなければならなかった。だが巻かれることはなかった。1回の完全な巻き上げは約4時間10分もつので、21:30に巻かれた灯は、キティウェイク号が01:52に消灯を報告する少し前に止まったことになる。

サイラス・レンが殺されたのは**23:30**から**01:30**の間である。

時間帯の始まりを23:10の小舟の目撃にした場合や、終わりを灯が消えた時刻（01:40～01:52ごろ）にした場合も正解とします。

サイラスが23:10に記録した、灯火のない小舟にも注目してください。新しい資料が続きます。

No.	内容	発見場所
1	血痕のこすれ跡、約8cm	鉄製手すり、下から3番目の踊り場（全6か所）
2	乾いた塩と砂で輪郭が残った足跡。かかとのある革底、男性用サイズ11（米国）程度。レン夫人とメリット保安官補はともにゴム長靴を履いていた。	階段の踏み板、踊り場1～4。塔の扉（岩棚側の扉）から上へ続く
3	真鍮製ブレザーボタン、錨の意匠、「J. PRESS・NEW HAVEN」の刻印	3番目の踊り場の床
4	巻き上げ用クランク、鋳鉄製、柄に直径約2.5cmの円形の突起	3番目の踊り場、手すりに立てかけてあった（通常は灯室のフックに掛けてある）
5	被害者の長靴、ゴム製、サイズ9	被害者が着用

メリット保安官補が収集。1～4は記録されたが、検視官には提出されていない。

私の勤務は9時からです。4号室の男性が21:30ごろコートを着て下りてきて、頭を冷やしに散歩してくると言いました。フロントでうとうとしてしまうまでに、その人が戻ってくるのは見ていません。

2時を少し回ったころ、扉の音で目が覚めました。あの人でした。ズボンが膝までびしょ濡れで、一言も言わずにまっすぐ二階へ上がっていききました。

6時にモーニングコールを頼まれていました。06:00に電話を鳴らすと、すぐに出ました。

伝票番号	氏名	開始	終了	合計
211	T・レン	19:05	01:12	14.60ドル（未払い）

バーテンダー、J・ドゥーセット：トミーは一晩中あのスツールにいたよ。ペッティンギルんとこの息子とクリベッジをやってた。裏の便所に一、二度行ったくらいで、それも5分だ。1時10分に明かりをつけて、全員追い出した。

日付	ボート	氏名／電話	出	戻	支払い
10/11	2号 14フィート エ ヴィンルード	R・コート／地元	06:00	13:30	12ドル
10/13	3号 14フィート エ ヴィンルード	E・ローソン／(617) 555-0148	21:40	01:40	現金20ドル＋保 証金50ドル
10/14	1号 16フィート ジョ ンソン	アルビー／ハーバー・ イン	10:00	15:00	15ドル

A-05

ウェスコット・マリン&フューエル — 給油伝票

封筒A

日付	時刻	船	ガロン	支払い
10/13	16:50	漁船キティウェイク号	軽油60	掛け
10/13	22:05	貸しボート3号	混合油6	現金
10/14	10:10	貸しボート1号	混合油5	現金

A-06

供述 — マリーナの夜番の男

封筒A

10時20分前ごろ、男が浮き桟橋に下りてきて、一晩ボートを貸してくれと言った。フェリーはもう終わったと言ったら、海の上で用があるんだと。現金で払って、保証金に50ドル置いて、名前とボストンの電話番号を書いていった。

背が高かった。都会の靴を履いてたな—あれじゃ靴がだめになると思ったのを覚えてる。ポンプで6ガロン入れて、航海灯をつけずに防波堤の外へ出ていった。後ろから怒鳴ってやったよ。

2時20分前にボートを返しに来た。膝まですぶ濡れだった。保証金を受け取って、坂を上って宿のほうへ歩いていった。

A-07

コースタル・ボート・ワークス — 造船所請求書

封筒A

コースタル・ボート・ワークス ・ ポート・ウェスコット

船	サリーB号 (D・ブロディ)
陸揚げ	1979年10月10日
作業	エンジン取り外し、ヘッドガスケット交換、船底塗装
進水	1979年10月20日

A-08

手紙 — 米国沿岸警備隊よりI・ソレンセンへ

封筒A

米国沿岸警備隊 ・ 第1管区 ・ 航路標識部

ソレンセン殿

10月中にターン岬灯台の自動化評価を行う任務について、本状にて確認する。灯台守に身分を明かさず、目立たぬよう灯台の運用を観察されたい。報告は11月1日までに提出のこと。